

本郷中学校区

<p>交流事業として、実施できたこと</p>	<p>①小中連携推進事業 みずほ台小学校 毎週火曜日 水谷小学校 毎週金曜日</p> <p>②小中連絡会</p> <p>③各種たより・広報誌の交換</p>
<p>乗り入れ授業の教科・領域 (英語)</p>	<p>【成果と課題】</p> <p>○中学校の教員が小学校での英語科の学習内容を把握することで、中学校での指導に生かすことができた。</p> <p>○小中一貫教育支援員が、授業支援(会話デモンストレーション、発音練習、活動のアイデアの提供等)を通して、苦手意識のある児童への個別支援を丁寧に行うことができた。</p> <p>・各学校及び小中一貫教育支援員との連絡調整が煩雑である。</p> <p>・中学校の英語教諭3名中、今年度は3年担任、2年産・育休、1年主任兼教育相談主任であったので、やむなく1年主任が務めたが、負担が大きかった。小中一貫教育支援員を派遣できるようにしてもらいたい。</p>
<p>カリキュラム編成に取り組んでいる教科・領域等 (英語)</p>	<p>①学力・体力の向上策の共有と実践</p> <p>②小中一貫した英語指導の研究と実践</p> <p>③「家庭学習の手引き」を活用した家庭学習の指導法の研究と実践</p> <p>【成果と課題】</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の拡大により、上記内容について研究を深める機会をつくることができなかった。</p>
<p>令和3年度の取組について</p>	<p>【成果と課題】</p> <p>○各小学校の英語授業において、中学校の教員がかかわることにより、小学校の児童は中学校の授業の雰囲気を感じる事ができた。これにより、少しでも中学校での学習に対して、期待を抱くとともに、不安を軽減することができた。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、会議や児童生徒が各校を訪問することができず、9年間を見通した活動に取り組むことができなかった。次年度は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、できる範囲で小中一貫教育の実践に取り組むことにより、みずほ台小・水谷小・本郷中学校で「9年間を見通した学びと育ちの連続」を推進していきたい。</p>
<p>令和4年度に向けて</p>	<p>* 各教科等における、9年間を見通した指導と評価についての研修</p> <p>* タブレットPCのさらなる活用(授業及び家庭)</p> <p>* Q-Uテストやスクールカウンセラー及びふれあい相談員の活用を通じた教育相談の充実</p>